

平成21年度 地区別懇談会開催

二松学舎大学
父母会報

平成5年5月10日創刊
平成21年10月20日発行
(第66号)

二松学舎大学父母会
(本部)東京都千代田区三番町6番地16
(事務局)千葉県柏市大井2590
〒277-8585 TEL.04(7191)8756

二松学舎大学柏教学課
題字は
故 観山貞廣常吉先生書



渡辺学長挨拶 (柏校舎)



山岡父母会長挨拶 (柏校舎)



平成二十一年度二松学舎大学地区別父母懇談会が、六月二十日(土)の札幌市・名古屋を始めて、全国七都市(開催日程順に)水戸市・柏市(柏校舎)・富山市・高松市・宮崎市で開催された。

今回は、新型インフルエンザの発生に伴う休講措置の影響で、七月四日(土)に開催を予定されていた東京会場(九段校舎)については、残念ながら中止することとなった。

今年で十七回目を数えるこの懇談会は、父母会の主要事業の一つとして実施されている。今年も学長・副学長・学務局長に加えて両学部長と大学職員が各地に赴き、本学学生の父母に大学の現況、教育方針等を説明し、将来計画等への理解・協力を求めた。併せて学生個々の学習・生活・就職活動等についての説明の後、意見交換が行われた。

本学柏校舎では、四年次生二名による「就職内定報告会」が行なわれた。キャリアセンターの取組みや、現在の就職活動の様子を知る事ができて参考になったと、大変好評であった。

各会場では、参加者の関心が、学生の履修状況に関する事、就職状況に集中していたことが印象的であった。又、懇談会に出席することにより、大学の姿勢が理解できたとの感想も寄せられた。

六月二十日(土)、梅雨空がうつろしいなか、水戸市に於いて地区別父母懇談会が開催されました。本学より鈴木国際政治経済学部長、高柳柏教学部長のご臨席を頂き、山岡父母会長の挨拶後、学部長より大学の現況や昨年度の就職活動の報告など、世界経済の実態も混じえてお話がありました。続いて、新校舎の九段三号館もまもなく竣工、来年度入学者から九段で四年間も可能となる他、コミュニティスペースも広く充実の施設を備えた新館完成のお話がなされ、大変嬉しく思っております。更に、毛塚・大上教学係長より、カリキュラムや進級・卒業要件に必要な単位数や資格取得について、用意して頂いた履修登録確認表及び成績通知書を参考に、詳しくご説明がありました。

息子が入学してから早四年、就職難の厳しい状況下に心痛していた矢先、地元水戸での開催に有り難く参加させて頂きました。同じ学舎で学ぶ子供の保護者として、同席した方とも話はずみ、また多数の参加者に驚きました。現状では難しい雇用



茨城会場

影山 美恵子

状況ではありますが、キャリアアセンタの充実もあり幾分胸を撫で下ろす事ができ、改めて面見の良い大学である事を気付かされました。その後の個別相談でも、丁寧に対応して頂き感謝の念が絶えません。このご縁を大切に、これからも二松学舎大学及び父母会の益々のご発展を祈っております。

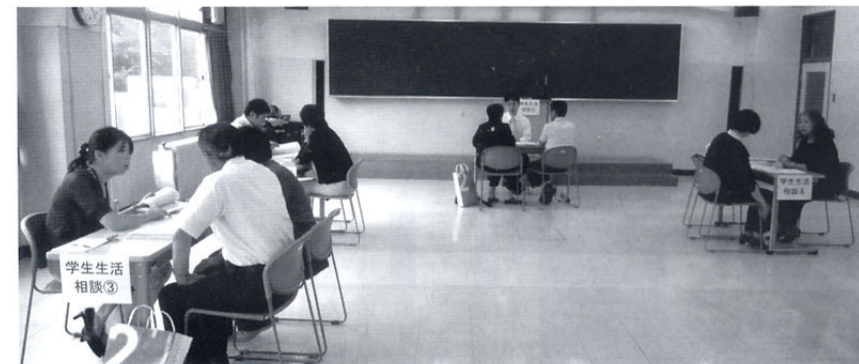
千葉県のパークホテル柏駅からスクールバスで二十分。七月十一日、新緑に囲まれる柏校舎で地区別父母懇談会が開催されました。

午前の部では、父母会長の挨拶に続き、渡辺学長をはじめ、先生方から大学の現況等の説明がありました。新校舎の九段三号館竣工に伴い、一年生から九段か柏校舎を選択できるような事。各学部の履修、卒業要件やGPA制度については資料を使いわかり易い解説でした。又、学生の学習状況、学生生活に関しては、興味深く聞かせていただきました。昼食はランチ券が配布され、学食の体験でした。食堂は窓が大きく、明るく開放的な雰囲気でした。

午後は四年生の就職内定報告の講演があり、就活での苦労や喜び、反省点など最近の状況が感じとれる実直な内容でした。

終了後も希望者には個別相談コーナーが設けられ、些細な質問にも丁寧に対応していただきました。

今回懇談会に参加して、学校を身近に思えた事、大学の学生に対するきめ細かな支援体制が感じられた事



千葉会場

山田 啓美

など親として有意義な一日になりました。今後も二松学舎大学と父母会の益々のご発展を祈念しております。

六月二十日(土)の北海道・愛知県・茨城県を皮切りに全国各地で懇談会が開催され、父母と大学教職員の交流が行われました。その内容を寄稿していただきました。

北海道会場

岡藤 克也

北海道での父母懇談会は、ないのだからかと思いつながら娘が三年生になった今年、札幌での開催を知り、楽しみにして参加致しました。

四年で全国各地を一廻りされるとの事、子供が在学中に一度は近くまで来て頂けるとの事でありがたく思いました。

当日は六月二十日、大学より渡辺和則学長と井上和男教学部長にご出席いただきました。

会場に入り、まず最初に渡されたパンフレット等資料と娘の成績表。これにはいささか面喰らい、その後の懇談会での発言にも影響ありやと冷や汗をかいていると先生のほうから、その成績であればしっかり勉強しているようですね、との言葉を頂き安心して懇談会に臨めました。

家内の祖父が二松学舎を卒業して国語の教師であったという血筋を受け継いだのか、娘も大学でとても楽しく充実した学びをしている様子がわかります。歴史と伝統のある大学



は私共親にも安心感を与えてくれます。これからも建学の精神にのっとりた教育を実践して行ってください。まずようお願い致します。

残念だったのは、遠く札幌まで来て頂いたのに保護者の参加が私を含めて二名だった事です。おかげで個別面談の必要がない程、普段の生活環境にまで先生方の体験談も含めた話しをお聞きする事ができました。

最後に、今後の大学の益々の発展をお祈りいたします。

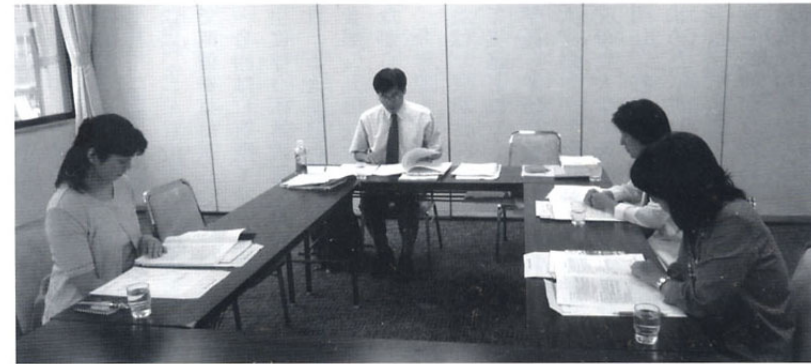
愛知会場

吉川 智香代

六月二十日土曜日、名古屋市内に於いて、地区別父母懇談会が開催されました。昨年は、近隣の開催が無く参加出来ませんでした。今年、愛知会場の案内をいただき、大学の事を少しでも理解出来たらとの思いで参加致しました。当日は、佐藤学務局長・山崎柏教学課長補佐・保護者三名と少数ではありましたが、和やかな雰囲気の中、懇談会が始まりました。最初に大学の現況・学習状況・学生生活等の説明がありました。次にゼミナール登録・卒業研究登録に必要な単位について、「成績通知書」及び「履修登録確認表」を実際に見ながら、細かに説明して下さいました。卒業要件や進級制度の内容等が分かり易く、大変参考になりました。日常的な生活については、子供との電話での会話で、ある程度把握する事が出来ますが、いざ学業面となるとわからない事が多く不安でした。

今日お話を聞かせて頂き、安心する事ができました。

二松学舎で学んだ知識を生かしながら、刻々と変化する現実に応じて智慧を発揮出来る人に成長して欲しいと思います。



いと思います。

最後に今回の懇談会は少数ではありましたが、色々な意見交換が出来て本当に有意義な時を過ごさせて頂きました。有り難うございました。

久しぶりの恵みの雨となった七月二十五日、地区別懇談会が開催されました。一度は参加してみたいと思いつつ、遠方への出席はままならず、子供も三年生になり、諦めかけていた時、今年は、宮崎で開催されると聞き、迷うことなく参加しました。

先生方は、私達の緊張を解きほぐすように、時折ユーモアを交えながら大学の現状や、今後の展望、学生の状況、資格、就職について、解りやすく、懇切丁寧に話してくださいました。又、私達からの質問、相談にも、親身になって答えていただき、現在の取得単位、成績、ゼミについて、将来へ向けての必要な資格など具体的に話して下さい、先生方の学生一人一人に対するこまやかな指導の様子を感じられ、心強さと安心感を覚えました。

昼食をばさんでの約二時間半程の時間でしたが、とても楽しく有意義な時間になりました。現在、宮崎県からは、二名の在学生しかおりません。そんな所へも、遠路はるばる足を運んで下さった先生方には、心から感謝申し上げます。又、ここを開



最後に、二松学会大学の今後益々の発展をお祈りいたします。

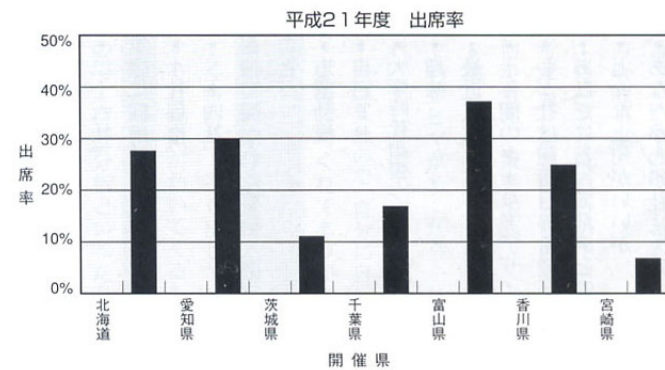
藤井 みい子

宮崎会場

平成21年度 地区別父母懇談会学年別出席者数

実施日	曜日	開催地	開催会場	学年別出席者数					出席率	実出席者数
				4年	3年	2年	1年	合計		
6月20日	土	北海道	札幌東武ホテル	学生在籍数 5	2	1	3	11	27.3%	3
6月20日	土	愛知県	ナゴヤグランドホテル	学生在籍数 4	0	3	3	10	30.0%	3
6月20日	土	茨城県	水戸プリンスホテル	学生在籍数 86	83	74	86	329	11.2%	49
7月11日	土	千葉県	柏校舎	学生在籍数 241	211	233	220	905	16.4%	202
7月18日	土	富山県	富山駅前ホテル	学生在籍数 6	1	0	1	8	37.5%	5
7月25日	土	香川県	オークラホテル高松	学生在籍数 2	3	4	3	12	25.0%	3
7月25日	土	宮崎県	ホテルメリージュ	学生在籍数 4	6	3	3	16	6.3%	2
		合計		在籍数合計 344	300	315	316	1275	15.5%	267

※実出席者数欄は、両親が出席の場合は2人として計算。



これからも会員の皆様のご意見を聞きながら、来年度に向けて地区別懇談会の内容を検討していきたいとおもいます。

場 37・5%、香川会場25%、宮崎会場6・3%となりました。

平成二十一年度地区別父母懇談会を終えて

七月二十五日(土)、香川会場(オークラホテル高松・宮崎会場(ホテルメリージュ)の開催をもって、平成二十一年度の地区別父母懇談会はすべての日程を終了しました。

開催された七会場の全出席者は、一九八名、全体では15・5%の出席率でした。各地区の在籍数に対する割合を開催地を見ると、北海道会場27・3%、愛知会場30%、茨城会場11・2%、千葉会場16・4%、富山会場37・5%、香川会場25%、宮崎会場6・3%となりました。

最初に渡辺学長から、大学の現況について大変良好な経営状況であり、九段三号館の竣工を始めさらに環境整備の充実が図られていると伺いしました。また、就職や資格取得についても、大学が多方面に働きかけ連携を図ってきめの細かい対応を心がけてくださっている様子が伝わり、保護者としてとても安心致しました。

次に菅原柏教学課長から、学生の学習状況や学生生活について具体的な説明を伺い、わが子の履習状況を目にすることもできました。学習面だけでなく文体連と教職員の方々の懇談会など、大学が学生の自治活動を支援し指導して下さる体制も備えられていて、学生の社会性を伸ばす良い機会になると思いました。

昼食の時、渡辺学長がお母様から送られた小包の思い出を話され、



温かいお人柄に触れるとともに、参加者(母親三名)一同、離れて暮らすわが子への愛情を伝えることの大切さを深く考えさせられました。

懇談会に参加して、伝統ある大学の理念や行き届いた指導に感服するとともに、本学を選んだわが子を誇りに思いました。このような会を催していただき心より感謝致します。

内田 洋子

香川会場

近村 明美

富山会場

七月十八日、小雨が降る富山市にて、林武志副学長と志村孝教学課長のご臨席を頂き、三名の保護者の参加のもと、地区別父母懇談会が開催されました。

最初に大学現況の説明をして頂きました。少子化で全入時代を迎えた中、更に、サブプライムショックの煽りを受け定員割れが出ている大学が多い中、二松学会大学は、文学部の定員四〇〇名のところを五〇一名、国際政治経済学部定員二〇〇名のところ二六四名とたくさんの本学入学者がいるお話を大変嬉しく拝聴しました。

大学志望者が多い理由として、大学側がきめ細かな教育をめざしていることがよくわかりました。

玉川大学との連携により小学校教員免許状が取得できる事や、学芸員や図書館司書の資格が取れることも挙げられますが、九段キャンパス三号館増設によって、益々充実した教育活動が可能になるということが大きいと思います。

ホテルの美味しい昼食をご馳走になりながら、全国に於いて地区別懇



談会を企画して色々な情報を下さる大学側に感謝の気持ちでいっぱいになりました。私は、息子が一年次の時に金沢で開催して下さいました折にも参加しておりますが、参加人数が少ないことが残念でなりません。もっととたくさんの方が参加されたらよいと心から思います。

今後も二松学会及び父母会の益々の発展をお祈りいたします。

最初に渡辺学長から、大学の現況について大変良好な経営状況であり、九段三号館の竣工を始めさらに環境整備の充実が図られていると伺いしました。また、就職や資格取得についても、大学が多方面に働きかけ連携を図ってきめの細かい対応を心がけてくださっている様子が伝わり、保護者としてとても安心致しました。

次に菅原柏教学課長から、学生の学習状況や学生生活について具体的な説明を伺い、わが子の履習状況を目にすることもできました。学習面だけでなく文体連と教職員の方々の懇談会など、大学が学生の自治活動を支援し指導して下さる体制も備えられていて、学生の社会性を伸ばす良い機会になると思いました。

昼食の時、渡辺学長がお母様から送られた小包の思い出を話され、

温かいお人柄に触れるとともに、参加者(母親三名)一同、離れて暮らすわが子への愛情を伝えることの大切さを深く考えさせられました。

懇談会に参加して、伝統ある大学の理念や行き届いた指導に感服するとともに、本学を選んだわが子を誇りに思いました。このような会を催していただき心より感謝致します。

内田 洋子

平成二十一年度 地区別父母懇談会 就職内定報告

【報告者】 国際政治経済学科 四年 飯窪 晃哉さん
文学部 国文学科 四年 南部 晴子さん

地区別父母懇談会の千葉会場では、キャリアセンター主催「四年生による就職内定報告会」が行われました。二名の学生から、次の様なテーマに基づいて報告がありました。

①就職を考え始めた時期

- ◆ 大学一年から意識。本格的に考え出したのは三年生の夏以降。
- ◆ 大学一年生の入学式。キャリアの方から「卒業は四年でして就職しなさい」との話があったため。
- ◆ 大学でのオリエンテーションで就職のことを話したり、適性試験を受けさせられたりしてから。
- ◆ 大学は第一志望でない分、就活は悔いのないようにしたいと当初から思っていた。

②実際に就職活動を始めた時期(合同説明会参加や個別企業の説明会参加など)

- ◆ 三年生の十一月、十二月に合同企業セミナーに参加していたが、本格的に動き出したのは二月頃から。
- ◆ 二年生の六月十日に漢字検定試験を受けた後、池袋サンシャイン

にてインターンシップの合同説明会に参加(三年生が対象だった)。

- ◆ 二年生の秋ごろに合同説明会に友人と参加(積極的に話して、二年生で参加していると企業から電話をもらえることも)。
- ◆ 三年生の夏から就活スタート。朝日新聞主催のアナウンサーや新聞記者などを目指す学生のマスコミ対策セミナーに参加(一年生の時から気になっていたため、早くから参加したかった)。
- ◆ 八月に三日間のアナウンサースクールの参加。
- ◆ テレビ局のアナウンサー一日体験に申し込む(日テレに参加)。

③業種・職種を決めた時期と理由

- ◆ 年明けには、リクナビやマイナビなどの就職情報サイトで調べたり、企業のパンフレットを参考に絞り込んだのが、ガス・IT・土木機具レンタル企業。その後、二月以降からは就職に対するテンションを上げるためと本腰を入れるために、志望理由を考ええた。
- ◆ 大学に入る前からマスコミに興味があった。(テレビ、出版、ラジオ

オ、新聞、広告)

- ◆ 秋にあったキャリアセンターでの面談の頃、小売に興味を持つ。
- ◆ 十二月の二松学舎大学内合同説明会で、金融(信用金庫)に興味を持つ。

④会社へのエントリー数と開始した時期

- ◆ 二月頭から本格的に合同企業説明会に参加し、気になった企業を中心に二十社エントリー。
- ◆ 夏にフジテレビにプレエントリーから開始。
- ◆ 十月からリクナビなどでエントリー開始。
- ◆ 一月から本格的にエントリーをしながら就活を本格的に開始。

⑤受けた会社の調べ方について(どのようなツールを使ったか)

- ◆ よく利用したのは、リクナビ、マイナビなどの就職情報サイトと企業のホームページ。他には、企業が伝えたいことが詰まっているホームページとパンフレットなどの配布物、四季報や就職四季報など。
- ◆ 小売、金融の店舗見学。
- ◆ 会社説明会、パンフレット、企業のホームページなど。

⑥合同企業説明会への参加回数

- ◆ 五回程度。
- ◆ 十五回程度。

⑦個別の会社説明会へ参加した社数

- ◆ 十社程度。
- ◆ 二十六社。
- ◆ 十社程度。
- ◆ 二十四社。

⑧実際に採用試験を受けた社数

- ◆ 十社程度。
- ◆ 自己PR
- ◆ 大学時代頑張ったこと(高校、中学)
- ◆ 興味
- ◆ 最近気になること
- ◆ 十年間のキャリアデザイン
- ◆ わが社は何番目の希望か
- ◆ あなたにとって営業とは
- ◆ どんな上司がいいか
- ◆ あなたがわが社に入社したら、どんなメリットがあるか
- ◆ 百万円あったら何に使いますか

⑨面接で聞かれた事柄・必ず聞かれたこと

- ◆ 志望動機
- ◆ 自己PR



飯窪 晃哉さん

- ◆ 商品のPR、地元のPR
- ◆ 自分を物に例えると、自分を色に例えると
- ◆ 就活状況について、どのように考えているか
- ◆ 店舗を見学しての感想など
- ◆ 三年後、五年後、二十年後のキャリアプラン
- ◆ 最近嬉しかったことやへこんだことといった日常のこと
- ◆ 最近気になったこと、時事的な気になったこと

⑩就職活動で苦労したこと

- ◆ 交通費と時間がとてまかかった
- ◆ スケジュール管理
- ◆ 行きたい会社があってもダブったり、説明会が満席で参加できなかった。
- ◆ 就職できるかという不安な気持ちに打ち勝つこと。
- ◆ スケジュールリング
- ◆ 会場までの道のり
- ◆ 体調管理
- ◆ メイクと髪型などの身だしなみ

⑪上手いかなかった時の対応方法

- ◆ 何も考えずゆくりする。
- ◆ 食事や散歩
- ◆ 音楽やDVD鑑賞
- ◆ 親との連絡
- ◆ 人に話してストレス発散(友人、キャリア・部活の先輩・親など)

⑫就職活動中よく相談した人

- ◆ 幼いころから私を知っている地元の就職指導者の方(常に怒られながら指導されていた)
- ◆ 親
- ◆ キャリアセンター
- ◆ キャリアセンター、両親、友人、先輩

⑬キャリア教育や就職特別講座について

- ◆ 今思えば、とても熱心に指導してくださったということを感じる。就職に関する現状、試験対策、面接対策など、他大学と比べて二松学舎大学のキャリアセンターは、就職に関して熱心に学生のためになる教育してくれた。
- ◆ しかし、就職活動も勉強と一緒で、自分がやる気にならないと本気で動けないと思う。個人個人しっかり就職活動を考え、キャリアセンターの力が合わされば、とても有利に就職活動ができると思う。
- ◆ 実は、私が内定した日本瓦斯は、キャリアセンターが開催してくれた合同企業説明会で知ることができたので、キャリアセンターには感謝している。

⑭キャリア教育を①④すべて受講

- ◆ キャリア教育も受講した。その中で、人事の方と接する機会を多く持てたことが、面接慣れする

⑮就職活動を振り返って後輩や父母へ伝えたいこと

- ◆ 私には、勉強は苦手だが、就職は比較的早い時期に決まった。景気が低迷している中でも、意中の会社から内定をもらえた。今の時代、大学名で判断されるだけではないとも感じた。
- ◆ エントリーシートの添削。
- ◆ 面接練習。
- ◆ 資料の閲覧や、就活本の閲覧。

⑯就職活動を振り返って後輩や父母へ伝えたいこと

- ◆ 私には、勉強は苦手だが、就職は比較的早い時期に決まった。景気が低迷している中でも、意中の会社から内定をもらえた。今の時代、大学名で判断されるだけではないとも感じた。
- ◆ 就活生と仲良くなるなら「レベルの高い学生」と仲良くしたほうがいい。
- ◆ 早い時期から始めるよりも、いかに内容の濃い就活ができるかがポイント。
- ◆ 先生からはエントリー八十社以上と言われたが、実際活動してみてもそんなに必要ないと思った。持



南部 晴子さん

- ◆ 志望動機はパンフレットとHPで作ることはできる。作れないと言っている人はパンフレットとHPの研究不足。
- ◆ 自己PRは自分のできることを考える。企業に売り込めるものは何か考え、抜き出す。
- ◆ 落とされて当たり前。落ち込んでいるヒマがあったら一社でも回れ。もしくはエントリーしろ。
- ◆ 人は人なので、自分に自信を持って。応援してくれてありがとうと伝えたい。

- ◆ 気持ちが不安定になる時に励ましてくれたり、送り出してくれたりとすると元気がわいてくるもの。
- ◆ 昔と今の就職活動は違っているので、自己分析といった私自身に関わることでアドバイスをくれると参考にできた。



九段三号館の竣工に伴い『電子掲示板』を贈呈

九段交差点前に、新たに「九段三号館」が、竣工しました。「九段三号館」は、地上十階建ての落ち着いた雰囲気デザインです。父母会では、「九段三号館」の竣工記念として、記念事業積立金より『電子掲示板』を寄贈することとなりました。設置場所は九段一号館・九段三号館及び柏二号館です。電子掲示板は、主に学生への連絡に使われます。七月二十七日には、竣工式が執り行われ、山岡父母会長が招待され臨席されました。

三号館及び柏二号館です。電子掲示板は、主に学生への連絡に使われます。七月二十七日には、竣工式が執り行われ、山岡父母会長が招待され臨席されました。



キャリアセンター長
国際政治経済学部教授
金子 茂

小学生の頃から運動好きで、漠然とだが将来は体操の先生になろうと思ったりしていた。高校時代には日体大卒の箱根駅伝を四回も走った。凄いい恩師に出会い、私も体育教師になりたいと確たる思いを持つに至った。念願の日体大に入り、陸上部(長距離走)に入った。長距離走部門は七十名近い部員がいた。練習は五千や一万メートルのタイムにより、三



文学部長
江藤 茂博

よく遊び働き、よく学んだ。大学の講座に無いような外国語を他で学び、一方好き勝手にいろいろな大学の講義にもぐり込んだ。新書文庫を片端から読みあさり、全集を読破した。遊びながら、そしていろいろなバイトを楽しみながら、本はかなりの読んだ筈だ。加えると、各駅停車の旅にもよく出た。この会報の期待に合わせて学生時代の勉強の話を中心に

班に分けられた。私はC班になり運動づけの日々が始まった。箱根駅伝を目指すA班の部員の心肺能力は抜群であった。過酷な練習にも食欲に立ち向かう彼らの姿勢には、いつしか尊敬の念を抱く日々になった。大学の授業には兎に角よく出席した。クラブ活動も二年生までは熱心に参加したが、三年生から個人的な練習へとシフトして行った。振り返ると、学生時代は、概して平凡な生活だった。しかし、田舎育ちの者にとつては、東京の生活全てが目新しく啓蒙的でもあ

書くとするならば、そしてそれ以外の話は別の機会を待つならば、そもそもその出版は、社会学を私が専攻したことだからかと思う。漠然と宗教社会学を学んでいたと考えていた。長崎で生まれ育ったこともあり、隠れキリシタンの研究でも、と思っていたのだ。決して柴田錬三郎の「眠狂四郎」の影響ではなく、遠藤周作の「沈黙」のそれからだと思ふが、実は自信がない。そこそこの文学青年だったのだ。しかし、いざ入学するとそのお目当ての講座は無くなっていて、一年ではデ

私の学生時代

った。特に大学四年の時の十八回東京オリンピック大会では、駒沢総合運動場で補助員をしたことが最も印象深い。さらに、練馬区江古田の二食付三畳間の下宿生活は、他大学の六人も居て、大変くつろげる新鮮で快適な生活空間だった。卒業と同時に体育教員として現任教大附属中学校で二年間勤務して退職。都の公立中学校で講師をや

りながら、東大教育学部の研究生になり、水野忠文先生のご指導のもとで体育学を学んだことは身に余る光栄であった。三エルクームを読むゼミ、二年では新聞発達史のゼミと、ジャンルをやや転々とすることに。二年のゼミの飲み会(かつて

は可能)で、担当の先生が、大学はドイツ文学の卒業で、以前は新聞社に在職していた、とおっしゃったのを聞きつけ、ではどんな資格で教えているのかと生意気に質問。すると、苦笑されながら、新聞社の研究所にいたからかな、と。非常勤でのゼミ担当だったが、なぜか気にかけてくれて、マクルーハンを勉強したいとゼミ発表もそれに関連させると、口

年間の研究生を終えて、一九七〇年四月に二十七歳で結婚し、十月には妻と共に米国南ダコタ州立大学大学院に留学したのも稀有で貴重な人生経験であった。言い古された話だが、人はそれぞれ「夢」に向かって、最大限の努力をする。換言すれば「やれば出来る・なせば成る」の強い信念を持つて貫くことが肝心だと思ふ。

ンドンからのお土産として、ペーパーバックのマクルーハンに関する本をプレゼントされた。しばらくたつたある日、新聞の夕刊を手にしたら、東洋大学の社会学部長と紹介されていた先生のエッセイを目にした。驚いたし、私の非礼も恥じた。それを知る以前から、講義に出ては、必ずひとつは質問する学生になっていたのだけど。そんなこんなで、学生時代は、たくさんの本を読み、多くの師を求め、結果、実際に、あるいは書物の中で、良くも悪くも幾人もの先生たちと出会う。そして、いろいろな研究会で勉強し、喫茶店で当てのない原稿を書いていた。

《特別事業実施報告》

二松学舎大学一三〇周年記念父母会奨学金(第二種奨学金)について、ご報告いたします。

奨学金

■第二種奨学金(受付は終了しました)
※応募資格は、本学に在籍する学部生で、本学の教職課程を履修中且つ将来教員となることを強く希望している二年次生、三年次生及び四年次生を対象とする。なお、四年次生については、この奨学金の申請時に教員採用試験に出願している学生。

※各学年十名以内
※給付金額十万円(給付)
採用結果は次のとおりです。採用者二十二名については、給付しました。

奨学金 採用結果		
年次	応募者	採用者
2年次生	6名	6名
3年次生	9名	9名
4年次生	7名	7名
合計	22名	22名

平成21年度文部科学省「大学教育学生支援推進事業」(学生支援推進プログラム)について

平成21年度「大学教育・学生支援推進事業」に、本学の「無業者5%未満を達成する「キャリア教育」と就職支援の再構築」が採択されました。この事業は、各大学等における学士力の確保や教育力向上のための取組の中から、達成目標を明確にした効果が見込まれる取組を選

定し、我が国の高等教育の質保証の強化に資することを目的としたもので、今年度から3カ年計画で実施されます。本学での取組概要につきましてはHPで一部紹介させていただいております。詳細につきましては、キャリアセンターにお問合せください。

第13回 中国語学研修 報告

語学研修報告書

北京大学歴史学系での語学研修も本年で十三回目を迎えた。前回、北京オリンピックの影響を受けて冬期(二月から三月)に実施することとなったが、今回は、例年通り夏期(八月二十日から九月九日)に実施し、八名の学生が参加した。この間、文学部伊藤晋太郎専任講師が前半を、同酒井淳吉教授が後半を引率した。

北京大学は中国の首都北京市に位置する国立の総合大学で、一九九九年に本学と協定を締結した。本研修を始め、交換留学生や教職員との相互派遣など、活発な交流を展開している。

本研修プログラムは本学のために組まれたもので、午前中は中国語の授業、午後は歴史や文化に関する講義、名所旧跡見学、伝統芸

能鑑賞など多彩な内容である。初めは環境の変化に戸惑う様子も見られたが、徐々に行動範囲を広げていき、中には、「帰りたいくない」と言い出す学生も出てきて、すっかり順応しているようだった。三週間と短期間ではあったが、「日本に対する見方が変わった」、「通常の旅行では得がたい貴重な体験ができた」という声が寄せられており、充実した日々を過ごしていたことが伺える。検定試験や長期派遣留学といった新たな目標を設定して、さらなる学習意欲を示す学生もあり、これも本研修の効果の一端といえるだろう。来年も多くの学生の参加を期待している。

(国際交流センター 田村 悠)



孔子廟

「中国語学研修に参加して」

文学部中国文学科 二年 篠原 恵美

あつという間の三週間でしたが、その期間に日本では味わえない数多くの経験をすることができました。今年の研修の参加者は八名と少ない人数ではありましたが、その分参加者全員が連帯感を持って行動できたと感じます。

中国語の授業をしていた林先生は私たちが聞き取りやすいようにゆっくりと丁寧に説明してくださいました。先生の親切なご指導には本当に感謝しています。

授業では教科書の内容以外に作文を書いて発表し、みんなで質問を合いました。何か誤りがあっても先生が訂正してくださるので間違いを恐れず発表することができました。

中国語の授業の他にも歴史や文化の講座の聴講や、北京の観光や劇の鑑賞など様々な活動をしました。観光ではそのスケールの大きさを目の当たりにして、中国という国の歴史の重みを感じました。

先生方や北京大の学生さん、そのほかの現地の人々と接するうちに強く感じたことは、もともと自分の考えを持っていることをきちんと伝えたいという気持ちをもちたいです。

団体発表や企画に限らず、今年も装飾が創縁祭の雰囲気を感じ上げていきます。窓ガラスに大々的に設置されたステンドグラス、今年の創縁祭に来た記念を残せる装飾、階段脇の狭く小さなスペース、ゴミ箱にまで装飾を施し細部にまでこだわった創縁祭を創り出しております。

ここまでは、校内の創縁祭を紹介してきましたが、外には模擬店がズラリと軒先を連ねております。焼き餃子、焼きそば、チュロス、モッフル、タピオカドリンク等、食べたくなるお店が、小腹が空いた来場者を刺激します。衛生面をしっかりと管理していますので、安心して召し上がっていただけます。

都会特有の縦に長い建物の中に、ぎゅっ詰まった創縁祭へ、晩秋の風を感じに九段まで足を運んでみてはいかがでしょう。いや、是非足を運んでいただけます様よろしくお願ひ致します。



二松学舎大学 創縁祭 2009

『Secret☆132』

開催日 平成21年11月1日(日)・2日(月)
場所 九段キャンパス

平成二十一年学園祭実行委員長を務めております、白尾聡一郎と申します。

今年の創縁祭は、「Secret☆132」1(心)3(み)2(つ)をテーマに活動しており、秘密にちなんだ企画もいくつか始動しております。当日まで秘密のものの中にはあるとかなんとか...そういった部分でも楽しんでいただける創縁祭を今年も目指しております。

もちろんそのような企画以外にも部活やサークル、ゼミナールによる発表、書作品の展示、ライブ、模擬店の出店など様々な要素がございます。

また参加型の企画も目白押しです。中洲記念講堂では、創縁祭恒例行事となりました、学内男子による「男子ミスコンテスト」。参加資格は二松学舎大学の男子学生であることで、「彼ら」は「彼女ら」へと変身して二松でイチバン可愛いミスが選ばれます。今年はそのに加わって、格好良

い貴女を決める「ミスターコンテスト」も開催される予定です。そして「ミスコン」同様、昨年に引き続き、出題者にとっては超簡単、参加者にとっては考え方が分らない様な問題を次々と出題する企画「クイズ!ウルトラマニアック!!くりべンジ」も健在しております。

また、初詣を前に今年最後のおみくじを「ヒヨ神社」で引いてみたり。創縁祭全体を回らなければ答えられない「クイズビンゴ」など、座って立って、一日楽しめるお祭りになること間違いありません。

また、開催日一日目の十七時、テレビでお馴染みの芸能人が二松学舎にもやってきます。全席指定席となっておりますので、ゆっくり堪能していただけたらと思います。

体育館、中洲記念講堂では限られた時間の中で音楽ライブ、演武、落語、ファッションショー、大道芸そして研究発表と色濃いた団体発表がひしめき合っております。観たい団体

う思いでした。お礼を言う時ですらうまく言葉にできずに、大変もどかしい思いをしたこともあります。もっと頑張って中国語を勉強しなくてはと思いました。

中国に行つて体験したことはどれもよい経験です。日本を離れて初めて気づいたことでもあります。この経験を生かして今後も努力していきたいと思ひます。

最後になりましたが、この研修でお世話になった全ての方々はこの場を借りてお礼を申し上げます。ありがとうございました。



頤和園・仏香閣

父母会からのお知らせ

父母会の無料休憩所が
12F 1201号室
に設けられています。
ぜひお気軽にお立ち寄りください。
* 無料のお茶・コーヒー等をご用意しています *



《須藤ゼミナール》

私たちのゼミは、中国宋代の哲学思想について研究するゼミナールです。扱っているのは北宋の二程子(程兄弟)で、彼らが残した著作・語録を集めた『二程全書』に基づき、その思想を研究しています。具体的な方法としては、原文を書き下し文にし、注釈をつけ現代語に訳しながら内容理解を深めていくというのが基本的なスタイルです。『二程全書』は、近代の東アジアへ多大な影響を及ぼした

私達のゼミはパソコンの技術の向上や知識の勉強をするゼミです。担当の先生は、須藤先生です。いつもゼミの授業では一つ一つの問題を分かりやすく教えてくれます。人柄も真面目で生徒との距離も近く頼りがいのある先生です。前期ではパソコン検定(P検)を受けました。ゼミ生みんなで勉強し、一つの目標に向かって日々勉強しています。そして、最終目標は国

《田中ゼミナール》

私たちのゼミは、中国宋代の哲学思想について研究するゼミナールです。扱っているのは北宋の二程子(程兄弟)で、彼らが残した著作・語録を集めた『二程全書』に基づき、その思想を研究しています。具体的な方法としては、原文を書き下し文にし、注釈をつけ現代語に訳しながら内容理解を深めていくというのが基本的なスタイルです。『二程全書』は、近代の東アジアへ多大な影響を及ぼした

ていうことから、中国思想を学ぶうえで非常に重要で興味深い著作だと言えます。なかなか難しいですが、慣れている人も慣れていない人もみんな一生懸命に研究資料を集め、レジュメを完成させ、内容理解を全体で共有する事を一人ひとりが目指して努力をしています。ゼミの雰囲気はとても活発で明るく、一人ひとりがメリハリを持っています。そこにはもちろん、田中正樹先生が担当でいて下さるからこそ、であるのだと思います。レジュメ等の発表時や、集まるべき時は真剣にすべき取り組める家資格であるITパスポートを取得するということ、大きな挑戦もしています。とても難しいように聞こえますが、日々の授業は和やかな雰囲気の中常に笑顔の絶えない楽しい授業を行っています。このような授業を行えるのも須藤先生の魅力です。授業中はとても雑談が多いですが、やる時はしっかりやるというオン、オフの切りかえがしっかりと出来ています。ゼミ生はみんな仲が良く、よくみんなで遊んだりすることもしばしばあります。僕はそんなゼミが大好きです。まだ合宿は行っていませんが、今後行っていく予

ゼミ探訪

定です。ゼミのメンバーはみんなとても個性的でいつもとても賑やかです。なかなか授業が進まない事もありますが、練習問題などを行っている時はいつも賑やかな教室が、一気に静まりかえるほどです。国家試験を受けただけあつて一つの問題は難しいですが、その問題を理解した時の達成感はとてもあります。このように一つの目標に向かって努力をするという事は、とても大変ですが素晴らしい事だと思えます。これからも、ゼミ生全員で一つの目標に向かって一歩一歩前進んでいきたいと思えます。



キャリアセンターだより 16

四年生の就職活動状況については、本学でも大変厳しいものとなっております。八月末現在、未確定ではありますが内定率は六五%程度です。今後も厳しい状況が続くことが予想されますが、お盆を過ぎたあたりから徐々にではありますが、新たな求人が届いています。キャリアセンターでは、就職希望者の最後の一人まで責任を持って面倒を見ていく覚悟ですが、そのためには、ご父母の皆様のご協力が不可欠です。未内定のお子様がおりましたら、一人で悩まずにキャリアセンターを積極的に利用するよう、アドバイスをお願いいたします。

「大学で一所懸命勉強しました」と胸を張って答えることができれば、そのほうが立派なアピールポイントとなるのです。

大学のカウンセリングにはいろいろな方があります。基本的には気がかりや気持ちを言葉で表現しながら問題解決の方向性を模索することが多いのですが、言葉での表現が苦手な人、ある問題に閉じてしまっている人などには、からだを使ったエクササイズを提案することがあります。このエクササイズは立つて行うこと、内側から自然に生まれてくるからだの動きについていくことが大きな特徴です。その人の状況にあわせて「いまの自分のからだの動きをどうにかしたいようにさせてあげよう」と促したり、「その問題を考えると、からだはどんなふう動いてくるだろう」とサポートしたりして始めます。しばらく待っていると、腕がゆつくり上がっていき、からだ全体でぶらぶら動いたりぐるぐる回ったり、しゃがみこんだり、足踏みしたり、それぞれ自由な動きが現れてきます。からだの動きも動かなくても、あとはその人のか

「次は何をするか」

学生相談室 だより 66

「その問題を考えると、からだはどんなふう動いてくるだろう」とサポートしたりして始めます。しばらく待っていると、腕がゆつくり上がっていき、からだ全体でぶらぶら動いたりぐるぐる回ったり、しゃがみこんだり、足踏みしたり、それぞれ自由な動きが現れてきます。からだの動きも動かなくても、あとはその人のか

「からだの動きを手がかりにこの在りようを整えるやり方は、目に見えないところと直接向かい合うよりも取り組みやすい面があるようです。ここを楽にするにも、人によって状況によってやりやすい方法があります。ここからでも無理なく自分らしい学生生活を過ごせるよう手伝いたいと思っています。」

論語の学校

RONGO ACADEMIA

二松学舎では四年間にわたり、シンポジウム『論語』を開催し、さまざまな角度から『論語』へのアプローチを公開してきました。このシンポジウムを受けて今年度からは、『論語』の学校 RONGO ACADEMIA を開催。より対象を広げた『論語』と古典教養の普及をめざします。

日時：11月28日(土)

13時～16時30分

会場：九段キャンパス中洲記念講堂

講演

◆「君子を目指せ 小人になるな

― 論語にみるリーダー像 ―

北尾吉孝

SBIホールディングス(株)

代表取締役執行役員CEO

◆「公治長の解鳥語について

― 経学と説話 ―

戸川芳郎

二松学舎大学名誉教授

※お問合せ：大学〔企画・財務課〕

二松学舎大学父母会

ホームページにて、最新情報公開中です。
是非ご覧ください。

TALKS

- ・会長メッセージ
- ・年間スケジュール
- ・地区別父母懇談会
- ・大学行事等への助成
- ・外国人留学生支援に関する助成
- ・卒業生に対する助成
- ・父母会報の発行
- ・特別事業
- ・父母会会則など

アクセスはコチラ

二松学舎父母会

URL
http://www.nishogakusha-fubo.jp/



卒業記念品として学校生活の思い出が詰まった卒業アルバムを、父母会から贈呈します。

つきましては、左記のとおり卒業アルバム用の写真撮影を実施します。特に個人撮影については、この機会を逃すと卒業アルバムに記載されないこととなります。(名前のみの記載になります)

是非ご撮影下さいます様、お声をかけて下さい。

★撮影期間

10月19日(月)～10月23日(金)

11月18日(水)～11月19日(木)

★撮影時間

10時～16時30分(全日)

★撮影場所(九段校舎)

個人写真：地下2階 学生ホール

ゼミナール写真：1階 正面入口階段前(雨天時は地下2階 学生ホール)

※ゼミナール写真は、ゼミ単位に指定された日時に撮影します。

編集後記

父母会会報第六十六号をお届けします。会員の皆様には、いかがお過ごしでしょうか。

今回の会報は、六月から七月にかけて全国七会場で行われた地区別懇談会を詳しくお伝えしています。十七回目となります懇談会への実質参加者は一九八名となりました。会員の皆様方から寄せられた多くのご意見は今後活かしてまいります。

尚、新型インフルエンザの発生に伴う休講措置の影響で、東京会場が中止となりました。参加を希望されていたご父母の皆様には大変ご迷惑をお掛けいたしました。懇談会では在学生の就職内定報告もありました。が、時代を見据えた就職活動支援の大学の取り組みの一端をお知らせしたく紙面を充てました。これからも大学、学生、ご父母の皆様をつなぐ会報の充実に取り組んでまいります。どうぞご意見感想をお寄せ下さい。

さて、本学の「創縁祭」は十一月一日、二日です。父母会も毎年参加し、気軽にお茶と会話、展示物見学の楽しいひと時を過ごして頂けるよう、「父母会休憩室」の準備を進めております。是非お立ち寄り下さい。時節柄、皆様の毎日の健康をお祈り申し上げます。